

バスロケーションシステムの導入について

1. 現状

- (1) 朝・夕のラッシュ時間帯を中心に、道路渋滞によるバス待ち環境の悪化がバスの信頼性を喪失させ、バス離れを引き起こす原因の一つとなっている。
- (2) 遅延発生時には、旅客が求めるリアルタイムな運行情報を把握、提供することが出来ず、運行管理者など関係者間での情報共有もできていない。

2. 改善方法と効果

- (1) 乗合バス車両に GPS を搭載し、バスの位置情報をスマートフォンで利用者に提供することで、バス停での待ち時間の短縮、ストレスの軽減等、サービスの向上を図る。
- (2) 運行情報を把握することで、運行管理および案内業務の向上を図る。

3. 導入計画

精華・西木津地区への導入は平成30年3月を予定。

以 上

(画面のイメージ)

